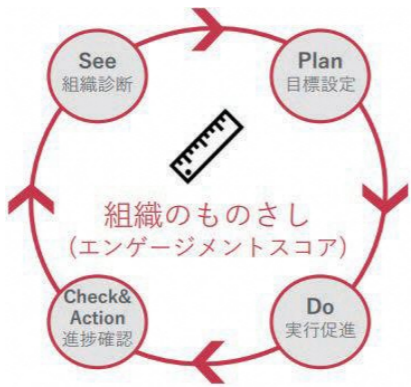


Q 市役所の業務が多様化してきた中で課題解決のための組織改造について

A モデル課の設定はできたか。また、改革の評価指標はどのようなものか。全庁への波及はどのようにするのか。

Q 業務改善モデル課として子育て支援課を選定し、取り組み内容の検討を進めている。他課でも同様に実施する予定。評価指標については検討中。



の強み、弱みについて定量分析し、現状把握を行ったので、今後改善策を策定する。

Q ③庁内会議の改革は、事前にアジェンダを設定し、論点を明確にした上で意思決定することを指す。

いずれにしても急激な変革は困難なため、二つ二つ対処しているところ。

Q 住まい快適断熱リフォームの補助金を増やしてはどうか。事業用家屋にも支援できないか。

A 補助率、補助上限額は県内他市と同程度だが、検討する。併用住宅のリフォーム工事への補助も検討する。



Q 地球温暖化対策について

A 三条市も2050年までに二酸化炭素の排出量実質ゼロを表明すべきではないか。

Q 脱炭素の努力はしている。さまざまな分野への影響が大きいので、現段階ではゼロ表明を行うことは考えていない。

坂井良永議員の質問

①地域包括医療②庁内・市内全体のDX化③市立大学一については、今とは異なる組織の在り方もあるのではないかと考えている。営業戦略室、地域経営課についても考えてみたい。

Q 中小企業支援について

A 倒産の報道が目立つ。県の借り換え融資の利子を支援できないか。

Q 県の新型感染症、物価高騰等対策に伴う支援型資金は、事業計画と資金繰りの見通しを示した経営行動計画の策定、実行が条件。独自の支援は、基

Q 農業施策について

A 親元就農を支援すべきではないか。検討したい。

Q 農業共済は自然災害を、ナラシ対策は価格低下を補償するもの。今年のような米質低下は収入保険制度しか対象にならない。収入保険への加入を支援すべきではないか。

A 加入促進施策について検討したい。

Q 太陽光発電設備設置に支援できないか。

A 現段階において補助の予定はない。

Q 同程度だが、検討する。併用住宅のリフォーム工事への補助も検討する。

Q 完成予定はいつになるのか。

A JR東日本からは、来年度から工事に着手し、工事期間は2年との見通しが示されている。

Q 岡本康佑議員の質問

就労アセスメントにおける特別支援学校等への説明と説明の瑕疵について

A 資料や説明に瑕疵はなかったか。説明の際に用いた資料の取り扱いの一部に誤りがあった。

Q 誤った状況となった見解は。現在まで誤りに気付くことができなかった。ニーズや地域課題の把握が十分でなかったことで現在の状況となったと考える。

Q 他市の支給決定数とどのくらい差があるか。

A 他市町村が25人。三条市は0人。

Q 三条市では卒業後、直接就労継続支援B型の事業所へ行けるか。

A 誤りを速やかに訂正することで直接Bに行ける。

Q 今後、在学中に就労アセスメントを受けることは可能か。

A 在学中にも受けることが可能になる。

Q 東三条駅前ロータリーの混雑緩和策について

A 見附駅は、国の補助金を活用して駅前整備事業を行っている。送迎車両混雑緩和のため、東三条駅でも同様に根本的な改修が必要ではないか。少なくとも、駅前駐車場の24時間化が必要ではないか。

Q 根本的な改修は、多額な費用が掛かるため考えていない。24時間化は、機器設置に多額な費用が掛かる他、

Q 地域おこし協力隊と移住促進について

A 今回の運行結果をもって判断するのは早いという声もあるとは思いますが、需要は多くないと考える。今後の運行は、費用対効果を勘案し、慎重に判断する。

Q 協力隊の任期満了後の定住率が三條市は約36%であり、全国平均の約53%に比べて大幅に低い。事業承継を前提とした協力隊の募集は法的に可能か。

A 可能だ。起業支援も含め、さらなるPRに取り組む。



周辺の月極駐車場への影響を考慮し、予定していない。

Q 書かない窓口について

A 書かない窓口とは、申請書を記入することなく、署名のみで受け付けを済ませられるシステム。来庁者が本人確認書類を見せ、職員は聞き取りを行って書類を作成する。書かない窓口の導入についての見解を伺う。

燕幸男議員の質問

Q 牛ヶ島踏切の拡幅改良について

A JR東日本との協議はどこまで進んでいるのか。

Q 大型車両も通行できるように2車線に拡幅することで実施協議を進めている。

Q お悔やみに関する手続きについて

A 多岐にわたる手続きを一本化するために、お悔やみコーナーを設置してはどうか。

Q 平成20年度から受け付け体制を整備し、複数の手続きを1カ所で行っており、お悔やみコーナーの機能は既に総合窓口に含まれている。

Q 先進自治体の事例を参考に、導入に向けて対象事務の整理やシステムの検討を進めている。時期は未定だが、早期の導入を目指したい。

Q 三條市役所組織改革プロジェクト「シンカ」の進捗について

A 具体的にどのような取り組みが進行中なのか。

Q ①DXの推進は、まずペーパーレス化。目標設定のための計測作業中。②コミュニケーション改善については、エンゲージメントサーベイを実施。組織



Q 完成予定はいつになるのか。

A JR東日本からは、来年度から工事に着手し、工事期間は2年との見通しが示されている。